
「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 80

2011.6.1 (水)

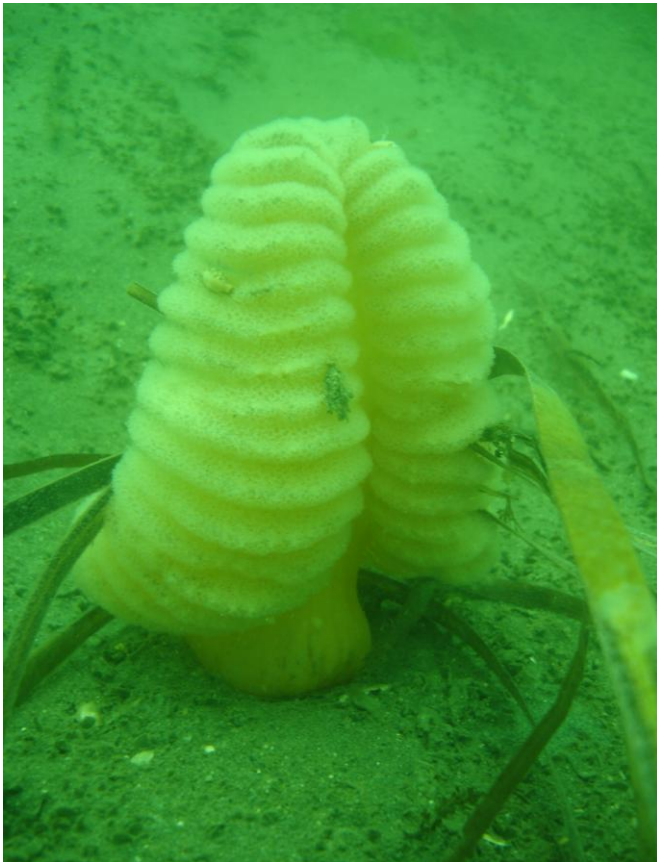


Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今日の海の生き物」 トゲウミエラ的一种 *Pteroeides* sp.

海底の砂の中に棍棒状の体を埋め、そこから体の上部左右に鰓状のポリプの葉状体を重ねるように付ける。一見、植物のようであるが、れっきとした刺胞動物門花虫綱ウミエラ目



トゲウミエラ科に属する動物である。やや深いところに棲むが、写真のトゲウミエラは水深 1m。トゲウミエラは針状骨片を持ち、その形で分類されているので、写真だけでは種の同定は困難である。この写真の動物もトゲウミエラ属の一種であるが、種名は不明。色は、鰓状のポリプの下方が褐色のものが多い。普通は夜行性で昼間は体を縮めて砂に潜っていることが多い。海水の流れに葉状体を広げ、水中の浮かんでいるプランクトンなどを食べる。葉状体の表面に共生動物をいろいろ住まわせている。写真の個体は巻貝のケボリ類とエビ類と共生している。

(瀬戸内海岡山県児島湾にて

向井 宏撮影)

目次 「今月の海の生き物」トゲウミエラの一種

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
3. きらめく動物たちの命と海 久保田信の白浜だより（その5）
4. 事務局便り
5. 編集後記

政府の「海洋保護区」の新定義に抗議する

政府の海洋政策本部は、これまで日本には「海洋保護区」という名称の海域がなかったことから、5月27日に世界各国で使われている「海洋保護区」(MPA)の定義を決めた。それによると、日本には37万平方キロメートルもの「海洋保護区」があるという。その定義とは、国立公園や国定公園、漁業権が設定されている海域など何らかの規制がある海域をすべて「海洋保護区」と定義するというのだ。そうしてみると、日本には約37万平方キロメートルの「海洋保護区」が存在し、日本の経済水域 (EEZ) の8.3%にもなるという。これまで日本では海洋保護区と考えられる海域が EEZ のわずか0.01%しか無く、日本の海洋保護政策が国際的に非難されてきたのを、「海洋保護区」の定義を変えることによって、その非難をかわそうとするきわめて卑劣なやり方である。漁業権を設定している海域まで加えたら、日本の旧領海 (沿岸3海里内) は、ほとんどすべて「海洋保護区」になるだろう。このような考えでは、日本の海洋保護政策は、世界中の物笑いになるだけでなく、実質的に海洋生態系の破壊を止める手だてはなくなってしまう。これまでの生物多様性条約目標に向けた真摯な検討が水泡に帰する。あらためて定義をやり直すことを要求したい。

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

【全国】

●日本海洋学会が大震災で声明を発表

日本海洋学会は、「東日本大震災と原発事故に関する日本海洋学会の活動について」と題する声明を花輪公雄会長の名前で発表した。海洋学会として大震災・大津波とフクシマ第一原発の事故について、積極的に調査研究を行うという内容である。以下はその声明文。

2011年3月11日、マグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」により発生した巨大津波は、東日本の太平洋岸を襲い、多くの人命を奪うとともに、住居など多くの建物を破壊し、生活基盤

と生産基盤を一举に奪い去りました。日本海洋学会は、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願ってやみません。今回の大震災では、地震の揺れと津波の襲来により福島第一原子力発電所が制御不能の事態となり、大量の放射性物質が大気と海洋に放出されたことが分かってきました。その量は、国際原子力事象評価尺度の最高レベルである「レベル7」と認定されるように、過去最悪の規模に達する恐れがあります。現在、放射性物質の大気や海洋への流出と拡散に関する観測と監視、そして数値モデルによる予測は、政府機関を中心として行われ公表されていますが、現状把握においても予測においても今後の一層の改善と継続的な取り組みが望まれます。さらに、震災による人的、物的被害とともに、水産業の基盤をなす沿岸生態系の破壊や、干潟や砂浜域の流出、そして大型藻類や底生生物の流出などが同時に起こっていると想像されますが、その実態は全くと言ってよいほど分かっておりません。日本海洋学会は、海洋科学の振興を目的として1941年に設立された学術団体です。本学会は上記の認識に立ち、学会の総力を結集し、海洋環境の現状把握と将来予測に関して、情報の収集とその発信、そして提言や調査研究計画の組織化を通じて、震災対応に取り組む社会への貢献を目指すことをここに宣言いたします。同時に、専門外の会員および非会員の皆様にもなるべく分かりやすく、かつ、なるべく多くの情報を発信することを心がける所存です。今回、本学会は、学会長を含む幹事会構成メンバー全員と各分野の専門家による「震災対応ワーキンググループ」を設置しました。今後はこのワーキンググループを核として迅速な対応をすることとしております。会員の皆様におかれましても、海洋学会を見守っていただいている非会員の皆様におかれましても、ご支援とご協力のほどお願い申し上げます。（2011年4月18日）

【東北】

●大船渡でカキ養殖 再開

東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた大船渡市赤崎町の下蛸ノ浦カキ養殖組合は、養殖業の再開に向けて、一步を踏み出した。種ガキは、宮城県石巻市から調達した。石巻市の養殖施設も津波でほとんど流され、今年は種ガキの供給が困難視されていた松島湾の施設だが、多島海である松島湾の小さな島々の陰の養殖施設がかなり被害を免れているのが発見され、種ガキの供給が開始された。大船渡ではこの種ガキを使って仮設の養殖施設に延縄式のロープに吊してカキ養殖を開始した。漁業者は、思いがけず早く再開できたことを喜んでいる。海でしか生きられないからと組合長は笑っている。海の水質は今年は良いらしい。瓦礫が撤去されれば海はすぐにでも回復する。原発からの放射物質が来なければ。

●洋野でウニ「増殖溝」の復旧作業始まる

岩手県でもっともウニの漁獲量が多い洋野町では、ウニの増殖を手助けする「増殖溝」に、津波の影響で土砂が流入してしまった。土砂を取り除き「増殖溝」を復旧し、ウニの増殖を図る取り組みが始まった。「増殖溝」は、国営水産土木工事として、沖合200mに深さ1.5m

のコンクリート製の溝を92本作ったもの。干潮時もそこに海水が溜まるため、餌の海藻が良く育ち、ウニの生育を促す構造物である。

●漁業廃業が3割 宮城県漁協アンケート

宮城県漁業協同組合（組合員10,443人）では、東日本大震災後の組合員へのアンケートを行った。それによると、組合員の3割近くが、この機会に漁業をやめる考えを持っていることが分かった。廃業を希望しているのは、高齢者と半農半漁の准組合員に多い。漁業継続を希望したのは61%の約6000人。廃業を考えている組合員が多いのは、石巻市雄勝東部の86%、雄勝湾の68%、七ヶ浜の44%などであった。組合員はほとんどが沿岸の養殖か定置網などの沿岸漁業の漁民。津波で養殖施設がほとんど流されたり、小型漁船も90%が流失しており、個人営業が基本の沿岸漁業者は廃業せざるを得ない状態に追い込まれている。

●福島 シラスからも高濃度のセシウム

福島県久ノ浜漁港や勿来漁港の沖で漁獲されたシラスから、政府の暫定規制値を超える高濃度のセシウムが検出されたことを、水産庁が発表した。コウナゴではこれまでも高濃度の放射性物質が報告されていたが、シラスから検出されたのは初めてである。漁獲された場所は、福島第一原発から30~60kmの圏内で、NGOのグリーンピースが採集したホンダワラから放射性ヨウ素が検出された場所に近い。この海域の生態系全体が放射能汚染されていると考えられる。

シラスはカタクチイワシの稚魚のこと。東日本沿岸ではこれから寒流系のコウナゴに代わって暖流系のシラス漁のシーズンを迎える。南から上がってきたシラスだけに漁業者は放射能汚染がないことを期待していたが、シラスにもセシウムが検出されたことで、ほぼ今年の漁業は不可能になってしまった。まして、福島という名前だけで、水揚げした水産物は買い手がつかない。漁業者は干上がってしまうと怒りをぶちまけている。

一方、水産庁が調査して放射性物質が低濃度で安全とされた魚は、ヒラメやカレイ、イカ、カツオなどがあるが、コウナゴやシラスとこれらの魚の違いは、これら大型の魚は頭や内臓を全部取り外し、筋肉だけを検査しているのに対して、コウナゴやシラスは頭や内臓を分離できないので、体全体を測定していること。頭や内臓を測定すれば、放射性物質が検出されるおそれは大きい。この海域では例年なら夏以降、サンマの漁業が始まる。今年のサンマは食べられるのだろうか。

【関東】

●三番瀬の情報拠点を閉鎖

東京湾三番瀬干潟の情報を発信するために千葉県が設置した「三番瀬サテライトオフィス」を今年8月末で閉鎖することが、千葉県の本年度予算編成で決まった。サテライトオフィスは、三番瀬の模型や写真を展示し、三番瀬の魅力や自然再生に向けた取り組みを県民に発信する施設。現在は船橋駅前のビルにある。同施設の維持費は年間630万円。利用者は

ほぼ 1 万人。千葉県三番瀬再生推進室では、「市川塩浜護岸工事などお金が必要な事業が始まるので、費用対効果も考慮して閉鎖を決めた」としているが、むしろ塩浜護岸工事の方こそ、費用対効果に照らして考え直すべきではないか。前知事時代に作られた「三番瀬再生会議」や「三番瀬サテライトオフィス」など三番瀬を残し再生させる枠組みが、森田現知事になって次々と廃止される。いずれ「三番瀬再生推進室」も廃止になるのではないだろうか。

●三番瀬の震災被害は極小？

「うみひろも」79号でも書いたように、東京湾三番瀬干潟の地形が震災の影響で変化したという報道があるが、東邦大学風呂田教授は、「現地を視察した結果、多少の変化は見られるものの、報道されているような数十 cm という沈下現象は見られなかった」と述べた。また、多摩川河口干潟でも、地形や生物の分布に大きな変化は見られないとしている。しかし、一方では地盤の上昇で干潟が大幅に広がったという情報もある。

●人工干潟 潮干狩り人出は昨年の4割以下

神奈川県川崎市川崎区の東扇島公園の海岸は、約 50 年前に立ち入り禁止としてそれまで行われていた潮干狩りができなくなっていた。その後、人工海浜「かわさきの浜」を造成して、昨年からは潮干狩りを認めた。昨年はゴールデンウィークの 1 週間に 25000 人が訪れるなど、半世紀ぶりに始まった潮干狩りに期待が高まったが、今年のゴールデンウィークの 1 週間では、昨年の 4 割以下の 1 万人以下の人出にとどまった。震災の影響もありそうだが、アサリよりも人間の方が多き混雑で、アサリが減少し、小さなものしか獲れないということもあったようだ。調査した結果では、個体数が昨年の 7 割、アサリ 1 個体の重さは昨年の 3 割でしかなく、人々の失望を招いたようだ。アサリは昨年の潮干狩りでほとんどいなくなったが、その後やや回復したが、夏に全滅した。当局では、夏の暑さが原因としているが、人工海浜の当然の結果ではなからうか。人工海浜には生き物はまともに棲めない。

●茨城沖の海水から放射性物質は無し 東電発表

東京電力は5月26日、茨城県沿岸の海水中の放射性物質測定結果を発表し、測定した5ヶ所のいずれでも放射性物質が検出されなかったとした。過去2回でも放射性物質は検出していない。海水の採取場所は、高萩市高戸小浜海岸、日立市久慈浜海岸、大洗町大洗海岸、鹿嶋市平井海岸、神栖市羽崎海岸のそれぞれ沖合3kmの地点。政府がグリーンピースによる海洋調査を認めなかった海域である。東京電力の発表を信用してもらうためには、第三者の測定も自由に認めるべきではないだろうか。

【中部・東海】

●海藻から放射性ヨウ素を検出 柏崎刈羽

新潟県柏崎刈羽原発の周辺で採取した海藻のホンダワラから、放射性物質のヨウ素 131 が検出されたと東京電力が発表した。東電によると、刈羽原発の排気筒測定器には異常が無く、ヨウ素は福島第一原子力発電所の事故で飛散したものだだろうと推定している。ホンダワラから検出されたヨウ素 131 は、最大 0.23 ベクレル/kg であった。これは国の摂取制限値の 8000 分の 1 である。しかし、微量であっても、検出されたことは重大である。福島原発の事故のせいにしておいて良いのだろうか。福島から来たとすればそれはそれでフクシマの事故の重大さを知らせるものであるし、フクシマのせいにして刈羽原発から漏れていないとするのもおかしい。チェルノブイリ事故の時に、チェルノブイリ事故のせいにして一部の原発が放射能を外へ出したということも知られている。そういうことの無いように監視の目を全国の原発に向けなければならない。

【近畿】

●2年続けて漂着 深海魚ハダカイワシ

深海に棲むハダカイワシの一種「アラハダカ」が、和歌山県白浜町臨海の北浜海岸で打ち上げられているのが見つかった。昨年 5 月に続き、2 度目。発見したのは、京大瀬戸臨海実験所の久保田准教授。同定したのは京大総合博物館の中坊教授。ハダカイワシの仲間は、世界中の外洋域に分布しているが、主に水深 200m 以深に棲み、巻き網などで混獲されることを除けば、岸近くで見ることはない。久保田准教授は「この季節の海洋条件で打ち寄せられたのだろう」と想像している。

●「自然守る運動伝えて」 環境副大臣が天神崎を視察

和歌山県で今年行われた全国植樹祭に合わせて和歌山県田辺市を訪れた近藤昭一環境副大臣が、ナショナルトラスト運動で有名な天神崎の磯や干潟、生き物などを視察した。副大臣は視察の後「すばらしい自然と風景が守られてきたこの運動をいつまでも継承して欲しい」と述べた。

●「千畳敷」国の名勝に指定へ

政府の文化審議会が、和歌山県白浜町の「千畳敷」を国の名勝に指定するよう答申した。白浜町では「円月島」が国の名勝に指定されているが、それに追加するように答申したもので、「千畳敷」単独で名勝に指定するものではない。「千畳敷」は、田辺層群白浜累層に属する砂岩の岩畳が約 4 ha にわたって広がる景勝地である。追加指定されると「円月島・千畳敷」の面積は、周辺海域も含めて 64,000 m²となる。

【中四国】

●山口県知事 上関原発反対に転換か

山口県の二井関成知事は、来年10月に期限が切れる上関原発建設予定地の海域埋め立て許可を、期限切れ以降延長しない方向を検討していると述べ、上関原子力発電を推進しない立場に変わる可能性を示唆した。これは、福島第一原子力発電所の事故以来、二井知事が上関原発の埋め立て工事を中断するように中国電力に申し入れたのに続く措置で、二井知事が上関原発反対の方針を転換しようとしている可能性が期待される。国が原子炉設置許可を出すかどうか不透明な状態になったことも、知事の態度に影響を与えているとみられる。埋立許可は、工事着工以来2年以内に竣工することが条件となっており、ブイを設置する以外には、排水溝付近に土砂を少し入れただけで、祝島住民の強い抗議に合い、工事は進んでいないことから、このままでは来年10月までに埋め立て工事を完成させることは困難な情勢となっており、知事が埋立免許更新を認めないと、事実上上関原発は当初の計画通りには作れないことになる。一度許可を与えたものを途中で取り消すことはできないため、工事中止には延長しないという手続きだけしかない。二井知事は6月の県議会で最終判断をする予定。まだ、予断は許せない状況は続いている。

●上関原発中止の意見書 全会一致で採択

山口県周南市の市議会は、上関町に建設が予定されている中国電力の上関原発の建設中止を全会一致で決議し、中国電力に申し入れた。一方、二井山口県知事にも意見書を出したが、県は周南市議会からの申し入れを受け取るための面会を拒否、郵送するよう指示した。上関原発計画の中止を求める決議は、山口県と県内19市町の議会では初めてのことで、周南市の一部は、上関原発の30km圏内にあり、事故が起こった場合、風向きによっては周南市全体が影響を受ける可能性もあることから、建設中止の意見書を決議した。

●青海島「通くじら祭り」古式捕鯨実演が今年から中止

山口県長門市青海島の通地区で、毎年行われている「通くじら祭り」で、中心的な行事であった古式捕鯨の実演が、今年から中止となった。実演で船頭役などの役割を担う地元の漁師が、祭りのために長期間漁に出られないことなど、負担が大きいため、不参加を決めたことが原因。実演は鯨の模型を使って古式捕鯨のようすを再現するもので、大勢の男衆が下帯姿で参加する。

【九州】

●諫早湾アセスを分析 「再生機構」検討部会を発足

佐賀県や佐賀大学などを中心にしたNPO「有明海再生機構」は、国営諫早干拓事業の長期開門調査が行われることになったことから、「総合検討部会」を発足させて、開門調査の環境アセスメントに対応することとした。環境アセスは近々発表されるため、その内容を

分析して、国に意見を述べる予定。検討部会では、農水省のアセスメントを厳しく監視し、国がパブリックコメントを求めたときに、ただちに意見を言えるようにしておくこととした。検討部会の座長には、小松利光九州大学教授が着いた。6月には「再生道筋検討部会」も立ちあげて、市民や漁業者と一体になって再生策を実行すると抱負が述べられた。

【沖縄】

●新基地建設で 辺野古の海 土砂で埋まる 米監査院が報告書

アメリカ政府の監査院（GAO）は、在日米軍の再編問題で報告書を発表した。その中で、沖縄の普天間基地に代わる代替え措置で名護市辺野古に基地を建設した場合、どのくらいの高さの埋立が必要かを示した。それによると、滑走路 1 本と 2 本の現計画のどちらをとっても、辺野古の海は全面的に土砂で埋まり、事実上ほとんど全面的な埋立になるという。辺野古基地の建設に必要な土砂の量は、日本全国の実採取量に匹敵すると指摘されている。埋め立てる辺野古の自然が壊滅的な打撃を受けるだけでなく、海砂を採取する場所の自然も、同じように壊滅することになる。

2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【北海道】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+ゲストトーク in 札幌

日時：2011年6月4日（土曜日）第1部...12:00 受付開始、13:00 上映、16:00（有）三素の家次敬介さん講演／第2部...17:30 受付開始、18:30 上映／第3部...21:30 上映

場所：札幌市中央区南6東1-2 ケーアイビル 3F (地図) PROVO

【参加費】1000円（要メール予約・1度の上映に50名まで）

【主催】PROVO / <http://www.provo.jp/>

【問合せ・予約】吉田 / 011-211-4821 / shop@provo.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+ゲストトーク in 札幌

日時：2011年6月5日（日曜日）第1部...12:00 受付開始、13:00 上映、16:00 斉藤武一先生講演／第2部...17:30 受付開始、18:30 上映／第3部...21:30 上映

場所：札幌市中央区南6東1-2 ケーアイビル 3F (地図) PROVO

【参加費】1000円（要メール予約・1度の上映に50名まで）

【主催】PROVO / <http://www.provo.jp/>

【問合せ・予約】吉田 / 011-211-4821 / shop@provo.jp

【東北】

●フォーラム 仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える

—浅海・砂浜・防潮堤・湿地・海岸林・農耕地を一体化する視座—

2011年3月11日に発生した大地震と大津波は、東北から北関東に至る東日本一帯に、未曾有の被害をもたらした。碧く輝く海、子どもらの歓声がこだまする水辺、多様な生き物が躍動する干潟、緑濃い樹陰が連なる海岸林、そして爽やかな風がわたる田園の変貌は、あまりにも痛々しい。本フォーラムでは、こうした「浅海から浜辺、防潮堤、湿地、海岸林、そして農耕地に至るエリア」を「海岸エコトーン」とみなし、仙台湾に沿った砂浜海岸領域を事例としながら、「今時の悲しみを二度と繰り返さないための復興」を基本理念とした意見交換を行う。

フォーラムの前半では、「そもそも海岸エコトーンとは、いかなる場なのか？・・・・・・」そこでは、どのような自然や文化、人為改変が展開されてきたのか？、「干潟や海岸林は災害低減や環境緩和、地域の暮らしにとってどれほど有益なのか？」、「被災地全体とカップリングした海岸エコトーンの復興に向けて、今後どのような工夫やしくみが求められるのか？」、それぞれ短時間ながら、8つの観点から話題を提供いただく。後半では、それをもとに参加者一同で大いに議論し、そして課題やアイデア、熱意、希望を分かち合いたい。

フォーラム 仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える

—浅海・砂浜・防潮堤・湿地・海岸林・農耕地を一体化する視座—

日 時: 2011年6月4日(土) 13:30~16:30

場 所: 仙台国際センター 1階 小会議室1

tel: 022-265-2450 <http://www.sira.or.jp/icenter/>

次 第:

1. 開催主旨説明 宮城豊彦
2. 話題提供
 - (1) 砂浜の形成史と近年の地形変化 松本秀明
 - (2) 海岸エコトーンにおける人間活動史 大山弘子
 - (3) 潟湖・干潟の生態と攪乱耐性 鈴木孝男
 - (4) 海岸エコトーンの植生構造 菅野 洋・富田瑞樹
 - (5) 大津波に対する海岸林の応答 宮城豊彦・齋藤綾子
 - (6) 田園・農業からみた海岸エコトーン
—防潮林の機能と効果— 神宮字寛・加藤 徹
 - (7) 災害廃棄物の土壌資源化による有効活用 中野裕司
 - (8) 地域主体の復興を支える市民活動
—人知を超えた災害を、人智で超えよう！— 惠小百合
3. 意見交換

指定討論者のコメント・参加者間で討論

4. 総括 原慶太郎・平吹喜彦

主催:「フォーラム 仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」実行委員会

共催: 東北学院大学、東京情報大学、自然環境復元協会・学会

・昼食を済ませてご来場下さい。震災によりレストランは休業中です。

・仙台市営バス・タクシーをご利用下さい。駐車スペース不足が予想されます。

バス=仙台駅前(西口バスプール9番)乗車, 博物館・国際センター前で下車

路線名 710・713・715・719・720 所用時間 10分 料金 180円

タクシー=仙台駅前から7分 料金 900円程度

連絡先: 東北学院大学 平吹研究室

981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1 Tel・Fax: 022-773-3706

E-mail: yhira@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp

●災害地の海岸清掃ボランティア募集!

～みんなで守ろう! 鳴砂の浜～

開催日: 6月11日(土)～12日(日)

開催場所: 気仙沼市唐桑半島 九九鳴き浜

主催: NPO「オーシャンファミリー海洋自然体験センター」

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+菊川慶子さんトーク in 青森市

日時: 2011年6月5日(日曜日) 第1回目上映 10:00/菊川さんトーク 12:30/第2回目
上映 14:00

場所: 青森県青森市中央3-17-1 ([地図](#))アピオあおもりイベントホール

【参加費】前売り一般 1100円/当日一般 1300円/生活クラブ組合員&中高生...主催者にお問い合わせください/一般料金中 100円と中高生の全額は福島への義援金とさせていただきます。

【主催】生活クラブ生活協同組合青森

【問合せ先】生活クラブ生活協同組合青森/017-762-6755

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 一関市

日時: 2011年6月12日(日曜日) 第1部 10:00/第2部 14:00/第3部 18:00

場所: 岩手県一関市東山町長坂字町 335-1 ([地図](#)) 東山地域交流センター

【参加費】前売り 1000円/当日 1300円/小学生以下無料

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】戸田/090-4315-8583

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 長井市 ★山形県リレー上映会★

日時：2011年6月18日（土曜日）第1回 10:00／第2回 13:00／第3回 16:00／第4回 18:30

場所：山形県長井市九野本 1235-1 ([地図](#))長井市置賜生涯学習プラザ

【参加費】大人 1000 円／小中学生 500 円

【主催】楽市プロジェクト

【問合せ先】キナリブロート井口／0238-40-0381

【関東】

●干潟生物調査研修会 2011 in 小櫃川河口干潟のお知らせ

この度、日本国際湿地保全連合（WIJ）では、干潟に興味があり、干潟の生きものを知りたい、調査をしたいという一般の方々を対象とした「干潟生物の市民調査」研修会を、昨年度に引き続き千葉県木更津市・小櫃川河口干潟にて、開催します。本年度も日本財団の助成を受けて、干潟生物に詳しくなりたい、あるいは干潟調査を地元でも展開していきたいという方を対象としたプログラムをご用意いたしました。

日 時：①調査リーダー・基礎コース

（干潟調査経験のある高校生以上。はじめてリーダーコースに参加の方を対象）

②調査リーダー・上級者コース（2010年度もしくは2011年度の調査リーダーコースに参加した方を対象）

①と②は、2011年6月17日（金）～19日（日）

③初心者のための「干潟生物の市民調査」：調査リーダーや専門家の指導のもと、干潟生物を調査します。干潟生物の専門家による講義や調査リーダーによる成果発表を聴講することができます。

③は、2011年6月18日（土）～19日（日）

会 場：千葉県木更津市小櫃川河口干潟及び周辺の民宿

民宿「与兵衛」〒292-0008 千葉県木更津市中島 3864 TEL. 0438-41-0318

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~yohei/>

講 師：風呂田利夫・柚原剛（東邦大学理学部生命圏環境科学科）、多留聖典（東邦大学理学部東京湾生態系研究センター）ほか

世話役：中川雅博（日本国際湿地保全連合）

参加費：①と②は 16,500 円（宿泊代、6/17、18 夕食懇親会、6/18 の昼食、6/18、19 朝食を含む）

初心者のための「干潟生物の市民調査」10,000 円（宿泊代、6/18 夕食懇親会、6/19 朝食を含む。日帰りも可（要相談）。）

定 員：①と②は合わせて 8 名程度。③は先着順に 8 名程度で締め切ります。

申し込み期限：2011年6月6日(月)

申し込み方法：別紙の参加申込書を、FAX またはメールにて、WIJ 担当中川まで。

問い合わせ先：日本国際湿地保全連合 (WIJ) 担当：中川

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-7-3 NCC 人形町ビル 6階

TEL : 03-5614-2150 FAX : 03-6806-4187 E-mail : masahiro_nakagawa ★

wi-japan.org ★を@に変えてお申し込みください。

参加者には、特典として、『干潟生物調査ガイドブック—東日本編』、『実物大干潟生物下敷き 2 枚組みセット』、『干潟市民調査パンフレット』など「干潟市民調査セット一式」を差し上げます。

・・・・・・・・以下、申し込み票・・・・・・・・

「干潟生物調査研修会」申し込み票

私は「干潟生物調査研修会 2011 in 小櫃川河口干潟」に申し込みます。

参加する研修会（どれかを丸で囲む）

1. 調査リーダー・基礎コース
2. 調査リーダー・上級者コース
3. 初心者のための「干潟生物の市民調査」

※調査リーダー・基礎コース、もしくは上級者コースの定員で参加できない場合（どちらかを丸で囲む）

1. 初心者のための「干潟生物の市民調査」に参加する
2. 今回は参加しない

お名前：

ご住所：

生年月日：(保険をかけますのでご記入ください)

お電話番号：

メールアドレス：

緊急連絡先：

メールの場合、件名に「干潟市民調査申し込み」としてください。

●一がたモニ 干潟の生きもの調査一

がたモニは、江戸前三枚洲の干潟をまもる市民参加の活動です。干潟の生物多様性を知るために、貝やカニなどの底生生物を定期的に調査しています。一緒に干潟の生きものに触れてみませんか？

日時：6月5日（日）9:30～15:00

場所：葛西海浜公園「西なぎさ」案内所前集合（葛西なぎさ橋をわたったところ）

定員：40名

参加費：無料（要申し込み）

持ち物：帽子、長靴、弁当、水筒

主催：認定 NPO 法人生態工房

協力：東邦大学理学部、葛西臨海水族園

問い合わせ、申込先：認定 NPO 法人生態工房

杉並区松庵3-38-14-2D 03-3331-5004（電話、ファックス）

info@eco-works.gr.jp <http://www.eco-works.gr.jp/>

●6月11日 全国で脱原発100万人集会

6月11日は、福島原発震災から3ヶ月。

今なお放射能の放出は続いています。

私たちは、人や自然を傷つける電気はいりません。

全国各地域の人々とともに、

6月11日に脱原発を求める100万人アクションを呼びかけます。

6月11日は、声をあげましょう！

今こそ脱原発へ！！

●葉山海の楽校プログラム

【6/19 H-8A・B】 のんびりシーカヤックハイキング ～磯の生きもの発見～ 半日プログラム

【6/26 H-9】 のんびりシーカヤックハイキング ～自然まるごと体験②～

詳しくは「海辺の体験プログラム～春～」をご覧ください。

主催：NPO「オーシャンファミリー海洋自然体験センター」

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 早稲田

日時：2011年6月3日（金曜日）昼の部（リバティールホール）／開場 13:00／上映 13:30
／監督トーク 15:45～16:30 夜の部（スコットホール講堂）／開場 18:00／上映 18:15／監督トーク 20:30～21:30

場所：新宿区西早稲田 2-3-1 (地図) 早稲田奉仕園リバティールホール、スコットホール

【参加費】1000円（すべて義援金として寄付します）

【主催】財団法人 早稲田奉仕園 【連絡先】片岡／03-3205-5406／press@hoshien.or.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク+ワークショップ in 小田原

日時：2011年6月5日（日曜日）朝の会 10:00／昼の会 13:00／夜の会 18:00

場所：神奈川県小田原市根府川 41 ([地図](#)) 旧片浦中学校

【参加費】 事前予約 1000 円／当日 1100 円

【併催企画】 監督トーク／調理室をつかってのサンドイッチ作りワークショップ

【主催】 気付きの種まきプロジェクト

【問合せ先】 佐久間／0465-29-1393 (きのこ苑お山のたいしょう)

oyamanotaishou@kxa.biglobe.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 甲府市 ★山梨県リレー上映会★

日時：2011 年 6 月 10 日 (金曜日) 第 1 部...開場 11:00、上映 12:00／第 2 部...開場 18:00、
上映 19:00／各上映後 2 時間ほど座談会あり、限定 30 名／昼の部は託児あり、有料です。

場所：山梨県甲府市中央 4-4-17 ([地図](#)) 花園 2F イベントスペース

【参加費】 前売り 1000 円／当日 1200 円

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】 田代／055-237-8792／ hanakininana@yahoo.co.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 富士川町 ★山梨県リレー上映会★

日時：2011 年 6 月 11 日 (土曜日) 開場 18:30／上映 18:45

場所：山梨県富士川町天神中条 820-1 ([地図](#)) 富士川町ますほ文化ホール

【参加費】 前売り 1000 円／当日 1200 円

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】 志村／0556-22-3016／ konomi-195126...aoyagi@docomo.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」+ 「フードインク」上映会 in つくば市 ～人と地域をつなぐ (東北・関東) 復興支援 (チャリティー) 映画会

日時：2011 年 6 月 11 日 (土曜日)

場所：茨城県つくば市竹園 2-20-3 ([地図](#)) つくば国際会議場大ホール

【参加費】 調整中

【主催】 常総生活協同組合 【問合せ先】 大石／0297-48-4911／ oishi@coop-joso.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 都留市 ★山梨県リレー上映会★

日時：2011 年 6 月 12 日 (日曜日) 開場 9:30／上映 9:40

場所：山梨県都留市中央 3-8-1 ([地図](#)) 都留市文化会館 (YLD 会館) 大ホール

【参加費】 前売り 1000 円／当日 1200 円

【主催】 「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】 大神田／080-6624-6371

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 千葉

日時：2011年6月18日(土曜日) 開場 13:30 / 上映 14:00

場所：千葉県千葉市中央区千葉寺町 1208-2 ([地図](#)) 千葉市男女共同参画センター

【参加費】前売 1000 円 / 当日 1500 円

【主催】映画と文化フォーラム

【問合せ先】西田 / 043-243-8383 / eiga-bunka-owner@yahogroups.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 忍野村 ★山梨県リレー上映会★

日時：2011年6月18日(土曜日) 開場 13:10 / 上映 13:30

【会場】忍野ふれあいホール / 忍野村忍草 1666-77

【参加費】前売り 1000 円 / 当日 1200 円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」連続上映実行委員会

【問合せ先】佐久間 / 090-3809-0648 / panya@rose.plala.or.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 千代田区

日時：2011年6月18日(土) 午前) 開場 9:30 / 上映 10:00 午後) 開場 14:40 / 上映 15:10

場所：千代田区富士見 2-17-1 ([地図](#)) 法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎さったホール

【参加費】一般：1000 円 / 法政大関係者：主催者にお問合せ下さい

【主催】法政大学人間環境学部

【問合せ先】西城戸・武貞・長谷川・辻 / tonikan@inter7.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 + 鎌仲監督トーク in 御茶ノ水

日時：2011年6月11日(土) 第1部) 11時00分～12時10分 (10時30分開場) 「ぶんぶん通信 no.1」上映 (70分) 12時15分～13時30分 鎌仲ひとみさんトーク 第2部)

14時30分～16時30分 (14時開場) 「ヒバクシャ」上映 (116分)

場所：東京都千代田区神田駿河台 3-6 ([地図](#)) 全電通労働会館

【参加費】前売：各回 1500 円 / 当日：各回 1700 円

【主催】(株)がいがプロジェクト 【WEB】<http://mimisuma.net/newsletter/20110611.html>

【問合せ先】オーガニックブックスみみをすます書店 / 03-3219-4865

info@gaia-ochanomizu.co.jp

●瀬瀬あや監督作品 映画「祝の島」上映予定

日時	場所	会場	問合せ先
----	----	----	------

6月4日(土) 19:00～	神奈川県 相模原市	杜のホールはしもと 多目的室	042-760-3066(市川)
6月4日(土) 18:25～	埼玉県 新座市	にいざほっとぶらざ 生涯 学習センター4階 多目的 室	090-9006-7726 (山道) 090-9106-4331 (小野)
6月3日(金) 19:15～	東京都 杉並区	ぼれやあれ	03-3316-0315 (ぼれやあれ)
6月4日(土) 14:15～	埼玉県 飯能市	自由の森学園 音楽ホ ール	042-972-3245 (自由の森学園音楽科・名和田)
6月5日(日) 14:00～	東京都 多摩市	ナチュランド・シルフレ イ隣 ヨガ道場	090-3804-3478 (小椋)
6月7日(火) 10:00～	神奈川県 茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化会館(第一 会議室)	090-9125-8076 (安中)
6月7日(火) 18:30～	神奈川県 茅ヶ崎市	海岸青少年会館(3F 会 合室 A)	090-9125-8076 (安中)
6月9日(金) 10:00～	東京都 武蔵野市	モモプロ	090-3599-8857 (子どももおとな も楽しむ生活プロジェクト 菊地)

6月9日(木) 19:00~	神奈川県 相模原市	カフェこたつ	042-810-8538 (カフェこたつ) 090-1205-5678 u-o-o★ezweb.ne.jp (Dog Bless you 内田)
6月11日(土) 20:30~	神奈川県 藤沢市	(株)Balance Factory	0466-50-1544 (湯山)
6月11日(土)~ 17日(金) 11:00~	兵庫県 神戸市	元町映画館	078-366-2636 (元町映画館)
6月12日(日) 14:00~	山梨県 北杜市	くじらぐも	0551-25-4053
6月12日(日) 14:00~	神奈川県 藤沢市	藤沢市労働会館ホール	090-9239-0864 (島田) 0466-33-4820 (松本)
6月16日(木) 10:00~	千葉県 千葉市	千葉市民会館小ホール	043-231-4408 (千葉友の会 前田)
6月16日(木) 18:30~	長野県 木曾郡	野尻地区館	080-1053-6436 (平中)

【東海・中部】

●山川里海セミナー

日時：2011年6月5日(日) 11:00～16:00 {昼食は12:30～13:30}

場所：日本福祉大学鶴舞キャンパス 北館8階

参加費は500円、希望者には750円でお魚弁当が用意できます。

第一部 11:00～12:30

東日本大震災を沿岸部からの視点で考える

1 表浜ネットワーク 田中雄二さん 「沿岸部の津波震災と支援について」

2 水産ジャーナリスト 新美貴志さん 「東日本大震災における漁業被害」

第二部 13:30～16:30

山川里海(流域圏再生調査) セミナー

1 環境省中部地方環境事務所 田村省二さん(総括自然保護企画官) 「CBD COP10の成果と「流域対話」など事業の今後の活用」

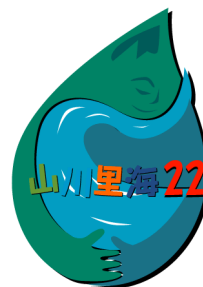
2 岐阜の森と水辺の技術研究会 野村典博さん 「第4期調査の内容からのメッセージ」

都市に何を伝えたいか? 流域対話での提言など

3 海づくり会議みえ代表 白鳥敏夫さん

エクスカーション(報告)を通じて三重から伝えたかったこと

海づくり会議みえが何をめざすのか



●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 上越市

日時:2011年6月11日(土曜日) 第1回上映12:00/第2回上映15:00/監督トーク17:30
/第3回上映18:30

場所：新潟県上越市本町6-4-21(地図) 高田世界館

【参加費】1000円 【主催】上越「ミツバチ」上映会

【問合せ先】橋本/090-1399-4450/ hashimotokei8@gmail.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 愛西市

日時：2011年6月11日(土曜日) 開場9:30/上映10:00

場所：愛知県愛西市日置町1248-1(地図) 明通寺

【参加費】主催者にお問い合わせください

【主催】6.11「いのちこそたから～センス・オブ・ワンダー」実行委員会

【問合せ先】北條/0567-24-1248 または 090-7671-4191/ odeike_628628@docomo.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 魚沼

日時：2011年6月12日（日曜日）開場14：30／上映14：15

場所：魚沼市干溝1848-4 ([地図](#)) 小出郷文化会館かまくらサロン

【参加費】400円 【主催】グリーングリーン

【問合せ先】山本（atelierひと葉）／090-3810-4979／info.greengreen888@gmail.com

【北陸】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 内灘町

日時：2011年6月11日（土曜日）開場13：00／上映13：30

場所：石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1 ([地図](#)) 内灘町役場町民ホール

【参加費】調整中 【主催】Switch うちなだ「世界はいま！」シリーズ第三弾

【問合せ先】水口／090-9441-7472／mizunowa@indigo.plala.or.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 射水市

日時：2011年6月12日（日）開場13：00／主催者あいさつ13：30／上映13：35／監督交流会15：50～16：45

場所：富山県射水市戸破1500 ([地図](#)) アイザック小杉文化ホールラポールまどかホール

【参加費】大人1000円／学生...主催者にお問い合わせください

【主催】9条平和小杉の会

【問合せ先】大橋／0766-56-3337／ohashi-yat@orange.plala.or.jp

【近畿】

●「ぶんぶん広がる日」 法然院

2011年6月5日 9：30開場（3部構成）

1部10：00開演 / 2部15：00開演 / 3部18：00開演

場所：法然院講堂

1部：山口県上関に建設予定の上関原発について学ぶ会

10：00～[ぶんぶん通信 vol. 2]上映

11：10～向井宏さん（海洋生物学者）による講演

12：40～田辺純子さん（祝島茶会主催）による報告

13：30～交流会

2部：クリスタルボウル演奏会

15：30～岡田路世（このえのこ店主）による演奏

3部：チョコリンガーズ Live!!

18:00～Zimbabwe ショナ族の伝統楽器 MBIRA (ムビラ) の演奏

予約方法

1部 800円 2部 Free 3部 前売 1200円 (当日 1500円)

ご予約はちせ又は、チョコリンガーズさねちかまで>>

ちせ 075-755-9865

さねちか 080-6335-6962 shuhei.sanechika@gmail.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信」上映会+Rabi Rabi ライブ in 伊勢市

日時：2011年6月5日(日曜日)

場所：三重県伊勢市宇治今在家町511 ([地図](#)) 高麗広公民館

【参加費】映画のみ1000円/映画+ライブ2000円

【問合せ先】加藤/090-7020-4484/ aane-sun104@hotmail.co.jp

【中四国】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 徳島市

日時：2011年6月18日(土曜日) 第1回上映10:00/第2回上映14:00/監督トーク
16:25/第3回上映18:30 (開場...各上映時30分前)

場所：徳島県徳島市幸町1-6 ([地図](#)) 徳島ホール

【参加費】一般前売1000円/当日1300円/高校生...主催者にお問い合わせください

【主催】ミツバチぶんぶん実行委員会

【問合せ先】ヨシダ/090-9559-4148/ VZP10406@nifty.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 新見

日時：2011年6月18日(土曜日)19:00スタート

場所：新見市新見210 ([地図](#)) 珈琲屋あるれ

【参加費】主催者にお問い合わせ下さい 【主催】888新見上映会準備委員会

【問合せ先】伊東/086-270-5305/ info@d-mc.jp

【九州】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 日向市 ★宮崎県リレー上映会★

日時：2011年6月4日(土曜日)開場18:30/上映19:00

場所：宮崎県日向市中町1-31 ([地図](#)) 日向市中央公民館

【参加費】1000円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】三股／0982-53-6922／ samansa@mirror.ocn.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 西都市 ★宮崎県リレー上映会★

日時：2011年6月5日（日曜日）第1部...開場13:00、上映13:30／第2部...開場17:00、
上映17:30

場所：宮崎県西都市小野崎1-66 ([地図](#)) 西都市文化ホール（ショッピングセンターパオ内）

【参加費】1000円 【主催】「これからのエネルギー問題を考える会」

【問合せ先】渡邊悦子／090-8916-1310

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 諫早 ★長崎県リレー上映会★

日時：2011年6月5日（日）第1部...開場9:30、上映10:00／第2部...開場13:30、上映
14:00／第3部...開場18:00、上映18:30

場所：長崎県諫早市多良見町木床2002 ([地図](#)) たらみ図書館海のホール

【参加費】前売り1000円／当日1200円／学割あり...主催者にお問い合わせください

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」実行委員会 【問合せ先】牟田純子／090-9400-7666

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 志布志 ★鹿児島県リレー上映会

日時：2011年6月5日（日曜日）開場9:00／上映10:00

場所：鹿児島県志布志市志布志町志布志2238-1 ([地図](#))

【参加費】1000円 【主催】ミツバチおおすみ

【問合せ先】下田／099-473-3487／ info@shantihtown.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 宮崎県 ★宮崎県リレー上映会★

日時：2011年6月11日（土）開場18:00／第1回上映19:00／第2回22:00

場所：宮崎県宮崎市橘通東3-7-15 TR ストーンビルB1F ([地図](#)) ぱーく

【参加費】1500円 【主催】IOC CREATIONS

【問合せ先】丸太／080-3229-7409／ nrhr.mrt@gmail.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 南島原

日時：2011年6月12日（日）①10:00 ②14:00 ③18:00 ※開場は各回30分前

場所：南島原市有家町山川131-1 ([地図](#)) 南島原市ありえコレジヨホール

【参加費】前売1000円／当日1200円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」南島原上映委員会

【問合せ先】井上／090-7929-5733／ msb3838@gmail.com

【沖縄】

●生物多様性の宝庫・沖縄ツアー 6/24～27

ラムサール・ネットワーク日本（ラムネットJ）では、2011年6月26日（日）に沖縄市で開催するシンポジウムと総会に合わせて、6月24日（金）から27日までのエコツアーを企画しました。

生物多様性に富む沖縄島では、大規模公共事業や米軍基地建設による環境の破壊、地域社会の分断など、大きな問題が山積しています。干潟やサンゴの海の生き物たちで賑わっていた泡瀬干潟は、この夏にも埋め立て工事が再開されようとしています。希少種ジュゴンが棲み、沖縄でも屈指の生物多様性を誇る辺野古・大浦湾の海では、普天間飛行場の移設先として海上軍事基地の建設計画が進んでいます。多くの固有種が生息するやんばるの森では、米軍のヘリパット建設やさまざまな開発が脅威を与えています。このツアーは、そうした数々の大問題を抱えるホットスポットを訪れ、その生物多様性に触れながら、自然保護と私たちの暮らしについて考えていきます。

「生物多様性の宝庫・沖縄～やんばるの森、大浦湾、泡瀬干潟」ツアー

■スケジュール（予定）※当日の天候などによって内容が変わることがあります。

日程：2011年6月24日（金）～27日（月）3泊4日

6月24日 （金）	12:00	那覇空港到着ロビーに集合（現地集合）
	午後	やんばるの森・高江へ。ヘリパットや林道など問題の現場を見学
	宿泊	国頭村楚洲「あさひの丘」（夕朝食付き、男女別相部屋）
	夜	やんばるの森・生きもの観察
6月25日 （土）	早朝	やんばるの森・生きもの観察
	午前	マングローブ湿地見学。辺野古・米軍基地建設予定地見学など
	午後	船に乗って、大浦湾の自然観察。
	宿泊	デイゴホテル（朝食付き、原則シングルまたはツイン）ほか
6月26日 （日）	午前	ラムネットJ 2011年総会 ※ラムネットJ会員以外の方はフリータイムとなります。 ※正会員としてご入会いただければ、総会への参加も可能です。
	午後	シンポジウム「湿地保全と私たちの社会」
	夜	地元の皆さんと懇親会
	宿泊	デイゴホテル（朝食付き、原則シングルまたはツイン）ほか
6月27日	午前	泡瀬干潟観察

(月)	午後	泡瀬干潟浅海域を船で見学
	16:00	那覇空港出発ロビーで解散（現地解散）

■募集人数：20名

■旅行代金：

- ・6/24～27日フル参加 42,000円
- ・6/25夜の宿泊から27日までの参加 19,000円
- ・6/24～26日までの参加 34,000円
- ・その他の一部参加も可能です。その場合の代金はお問い合わせください。

■旅行代金に含まれるもの：

- ・専用バス代、宿泊費、現地案内人への謝礼、資料代など

■旅行代金に含まれないもの：

- ・那覇空港までの運賃、昼食および沖縄市での夕食代、個人的性質の諸費用

※各自、旅行保険への加入をお願いします。

■申込締切：6月15日（水）

- ・宿泊予約の都合上、とりあえず下記申込書を先にEメールでお送りください。

■お問い合わせ・お申し込み：

- ・ラムネットJツアー担当：陣内 隆之 TEL：090-8179-2123

Eメール [bi5t-jnni☆asahi-net.or.jp](mailto:bi5t-jnni@asahi-net.or.jp)（☆印は@に置き換えてください）

■代金の振込先：

- ・ゆうちょ銀行 振替口座 00140-0-765702 ラムサール・ネットワーク日本

※通信欄に「沖縄ツアー代金」と明記してください。

『生物多様性の宝庫・沖縄～やんばるの森、大浦湾、泡瀬干潟』ツアー参加申込書

氏名（フリガナ）：

郵便番号：

住所：

電話番号：

メールアドレス：

所属団体（任意）：

参加日程：

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 西原町

日時 2011年 6月 11日（土）第1回 9:00／第2回 12:30／第3回 16:00／第4回 19:30

場所：沖縄県中頭郡西原町字翁長 777 ([地図](#)) 沖縄キリスト教学院大学 SHALOM 会館

【参加費】大人 1000 円、学生 900 円／当日...大人 1200 円、学生 1100 円／小学生無料

【主催】いのちをつなぐアースハーモニー実行委員会

【問合せ先】ONE LOVE 岸本／070-5690-2414（月水木 10 時～17 時対応可能）

onelove_okinawa@yahoo.co.jp

3. きらめく動物たちの命と海 【久保田信の白浜だより(その6)】

凍死して打ち上がる熱帯魚たち

例年、冷え込みが厳しい2月をピークに、約2カ月間が、黒潮に乗ってやってきて田辺湾に住み着こうとしている熱帯魚たちにとって受難の季節となる。まさに『生きるか死ぬかの瀬戸際』なのだ。

北浜で毎日観察をしているが、2005年2月8日に10種19個体が打ち上がっているのを発見した。この日に最も多かったのがツマジロモンガラで9個体（図）、次にネツタイミノカサゴが2個体で、あとの8種は1個体ずつだった。この中には、これまで確認したことがなかったヘリシロウツボ幼魚とアミメウマヅラハギもまじっていた。あとは、ニセカンランハギ、キリンミノ、アオヤガラ、ハナキンチャクフグ、そしてよく打ち上がるウミスズメ、シマウミスズメだった。2005年2月に入って打ち上げが目立つようになり、

様々な熱帯魚の多数の打ち上げ

今年はツマジロモンガラの大型個体が、多数、打ち上がった。2005年2月10日午後3時ごろにも9個体が打ち上がった。8日と10日の両日以外の日は、どの日も数個体ずつの打ち上げで、冬季はずっと連続して打ち上がったのが印象的だった。他の魚種も、ツマジロモンガラと同様に、毎日打ち上がる個体数はごくわずかだった。私にとって今年初めて打ち上げ魚種として確認できたのは、カモハラギンポである。これは18日に1個体を発見し、他の日にも干からびた1個体を発見した。

2月13日には熱帯系の珍種オナガウツボ1個体が、瀕死の状態でも波打ち際に横たわっていた。オナガウツボは、通常、沖縄以南に分布する種だ。日本最長のウツボで、全長3mにも達する。体をつついてみると、かすかに動いたため、京都大学白浜水族館に持ち帰った。体長が1.5mほどもあった。

オナガウツボを水槽へいれると、すぐに息を吹き返した。しばらく静養させた後、数日後に瀬戸臨海実験所水族館のウツボコーナーでお目見えさせた。オナガウツボはその特徴的な細長い体をくねらせて元気だった。だが、ぐるぐると落ち着きなく回りつづけ、時には上下にも移動するなど、行動はどことなくおかしかった。泳ぎ方もバランスを欠いて

おり、不自然な体勢だったのは、平衡感覚が麻痺していたせいかもしれない。気になっていた通り、数日後には死亡してしまった。

このオナガウツボは、既に入っている体長2 mほどもあるニセゴイシウツボの口先に「よくもそんなことを平気でできる」と驚くほど、何度も何度も当たっていた。しかし、全く噛まれることもなく、他のウツボたちも攻撃しなかった。この水槽には、2属8種のウツボ類（アデウツボ、アミメウツボ、ウツボ、サビウツボ、トラウツボ、ニセゴイシウツボ、ハワイウツボ）計21個体とゴイシウミヘビ3個体がいる。水槽の底に3段に並べた多数の塩ビパイプ（直径約15 cmと30 cm、長さ約1 m）に入って仲良く暮らしている。凶暴と思われがちなウツボたちは、水槽のガラス越しにのぞくと、可愛い目をしている。口に鋭い歯が多数生えていて、ぱっくり開けるとちょっと怖い、意外におとなしい動物のようだ。

今年の冬季に北浜に打ち上がった魚種としては、上記のほかには、田辺湾で普通に見られる種ばかりであるが、ハリセンボン、ハコフグ、イシガキフグ、アイゴ、イザリウオの1種、クロホシイシモチ、ヘラヤガラなどが見られた。

黒潮大蛇行による水温低下が凍死の原因

2005年は熱帯魚の受難の年になった。この年は黒潮が大蛇行しており、紀伊半島沿岸への接近がなかったため海水温が低下する。地球温暖化によって、今回発見されオナガウツボのように南方系の生物たちの分布が北上している。しかし、黒潮という強大な流れの変化は、ぎりぎりの生活場所で生きる魚たちにとって、このような受難はやむを得ない宿命なのである。



図. 瀬戸臨海実験所北浜に数多く打ち上がったツマジロモンガラの成魚。

4. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひろも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

5. 編集後記

5月は暑くなったり寒くなったり安定しない天候だった。まるで今の福島第一原発群のように。放射性物質拡散の影響は徐々に明らかになりつつある。海の生き物への影響は今後長く続く可能性がある。目に見えないものの影響は底知れずおそろしい。一日も早く復興して欲しいが、これまでの自然を無視した開発に戻らない覚悟が必要なのではないだろうか。海の生き物を守る会で募金活動をしてきた南三陸町の自然環境活用センターを復活させたいという思いが、先日の日本経済新聞に取り上げられた（「よみがえれ海の教室」）。その中で、この募金運動も紹介されていた。残念ながら記者の勘違いか、知っていながら無視したかわかりませんが、私個人の募金活動と書かれてしまい、海の生き物を守る会の名前は出ていませんでした。新聞というものは、いつも正確さを欠くものと知りながらも、ちょっと不満です。でもセンター（海の教室と紹介されている）の復活を望む声が紹介されたことは、南三陸町の幹部たちに何らかの力になればと思う。私たちの寄付金も、その動きに合わせて送りたいと思っている。寄付をお寄せいただいた皆さんに心から感謝申し上げます。（宏）

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp（向井）まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第 80 号

2011 年 6 月 1 日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会